



まちがど トピックス



■重要文化財消防訓練～貴重な文化財を後世に引き継ぐ～

1月23日、重要文化財旧杉山家住宅で、消防訓練が実施されました。訓練では、不審火により中庭から出火したと想定。通報により駆け付けた自主防災組織の皆さんが観光客を避難誘導し、消防隊員と消防団員が一齐放水をしました。また、ドローンを飛ばして上空から被害状況を確認する訓練も実施され、参加者たちはいざというときの備えを改めて確認していました。



■ええとこ、ええもんをPR

1月19日、トピック（きらめき創造館）で、「未来の富田林をあなたと描く市民会議 “Miraton 2018→19”」が開催されました。これは「富田林のええとこ・ええもんPR」をテーマに、参加者自らが企画・アイデアを実践することを目標にグループで活動するワークショップ形式の会議で、最終回のこの日は、市の魅力をPRする動画の上映など、各グループが創意工夫を凝らし作り上げたPR媒体が披露されました。

■芥川賞作家の人柄にふれる

1月20日、中央公民館で、中央公民館クラブ連絡会設立45周年記念講演会「他者を愛し、自己を愛する。」が開催され、芥川賞作家の平野啓一郎さんが自身の作品にもふれながら「愛のかたち」をテーマに講演されました。

講演会の後には、お薦めの本を紹介し合い、最も読みたくなった本を決める「知的書評合戦（ビブリオバトル）」も実施され、発表参加者は平野さんの作品の魅力に熱く語っていました。



写真とともに見る 1月～2月のできごと



■ 避難所の環境向上をめざして

1月31日、市役所で、「災害発生時における応急生活物資の供給に関する協定」の調印式が実施されました。これは、災害発生時の避難所に対し、段ボール製の簡易ベッドや間仕切りなどを迅速に提供してもらえるよう、民間事業者2社との間で協定を結ぶものです。これにより、避難所の床での雑魚寝を原因としたエコノミクスクラス症候群を含む健康被害を軽減するなど、避難所生活での環境改善が期待されます。

■ 食べちゃうのがもったいない

2月2日、中央公民館で、「デコって楽しい！手作りバレンタイン教室」が開催されました。参加した子どもたちは、夢中になって色とりどりの「ウーピーパイ」というお菓子を手に、異なる色のウーピーパイを重ねたり、チョコレートで模様を描いたりして、それぞれ個性あふれる飾り付けを楽しみました。できあがったお菓子は「食べちゃうのがもったいないね」と、大切に容器に並べて持ち帰っていました。



■ とっぴーと読もう！

2月5日、市消防本部で、「とっぴーと読もう！読書感想文コンクール」の表彰式が開催されました。同コンクールでは、子どもたちの読書活動の推進とさらなる学習意欲の向上を目的に、市内在住の小・中学生から読書感想文を募集しました。

7年目を迎えた今回は、4097作品もの応募が集まり、その中から市長賞・教育長賞各3作品、とっぴー賞15作品が選ばれました。

■ 世界の強豪を相手に奮戦

2月4日、第43回スポーツチャンバラ世界選手権大会、楯小太刀5-6級の部に出場し、第3位の成績を収められた川西小学校5年生の久保 結菜さんが教育委員会顕彰のため市役所を訪れました。大会では、体格、リーチが違う外国人とも対戦されたそうで、次の目標について聞かれると、「世界選手権大会で優勝したい」と力強く話してくれました。

今後、ますますの活躍を期待しています。

